



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年7月26日

上場会社名 株式会社PALTAC

上場取引所 東

コード番号 8283 URL <http://www.paltac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 糟谷 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画室長 (氏名) 嶋田 政治

TEL 06-4793-1090

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	262,633	0.8	6,259	9.5	6,964	8.5	4,780	8.8
2019年3月期第1四半期	260,511	7.3	6,912	17.5	7,609	17.0	5,239	17.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	75.23	
2019年3月期第1四半期	82.46	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	411,137	198,803	48.4	3,128.43
2019年3月期	393,603	197,237	50.1	3,103.80

(参考)自己資本 2020年3月期第1四半期 198,803百万円 2019年3月期 197,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		34.00		34.00	68.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	540,000	3.5	14,000	1.8	15,300	1.9	10,500	2.4	165.23
通期	1,050,000	3.4	25,000	1.6	27,500	3.6	25,500	29.0	401.28

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	63,553,485 株	2019年3月期	63,553,485 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	6,237 株	2019年3月期	6,237 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	63,547,248 株	2019年3月期1Q	63,547,283 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦をはじめとした海外経済の不確実性による影響など、先行きの不透明な状況が続く中で、雇用・所得環境の改善や底堅い企業業績により、足踏み感はあるつつも景気回復基調で推移いたしました。

化粧品・日用品、一般用医薬品業界においては、女性の社会進出など、生活スタイルの変化にあわせた付加価値商品は依然として堅調ながらも、気候要因による季節商材の不調や、インバウンド消費の環境変化の影響を受けることとなりました。また、業界全体の成長を妨げかねない人手不足は、人件費や物流費の高騰を伴い、随所においてその影響がさらに大きくなっております。

このような状況のなか、当社は「顧客満足の最大化と流通コストの最小化」をコーポレートスローガンに、人々の生活に密着した「美と健康」に関する商品をフルラインで提供する中間流通業として、サプライチェーン全体の最適化・効率化を目指した取組みを行っております。小売業の効果的な品揃えや販売活動を支援する営業体制の強化、及び安心・安全で高品質・ローコスト物流機能の強化を図り、平時はもとより有事の際にも「安定供給」できる体制により、小売業ひいては消費者のみなさまへローコストかつ安定的に商品をお届けする取組みを行っております。

当事業年度は「1兆円、その先へ～攻めの投資で流通改革に挑戦～」をビジョンとする中期経営計画の2年目にあたり、労働人口減少に伴う人手不足への対応をはじめとした流通における課題の解決を推進し、持続的成長による企業価値向上に取り組んでおります。

また、中期経営計画の一環である、首都圏での出荷能力増強とA I・ロボット等を活用した新物流モデルの展開による飛躍的な生産性向上を目的とした「RDC埼玉」(埼玉県北葛飾郡杉戸町/2019年11月稼働予定)の建設を順調に進めるなど、事業基盤強化に向けた取組みを計画どおり進めております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高2,626億33百万円(前年同期比0.8%増)、営業利益62億59百万円(前年同期比9.5%減)、経常利益69億64百万円(前年同期比8.5%減)、四半期純利益47億80百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

(注) RDC (Regional Distribution Center) とは、大型物流センターのことをいいます。

なお、当社のセグメント報告は、単一セグメントのためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べて175億34百万円増加し、4,111億37百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が123億61百万円、商品及び製品が35億80百万円、土地が23億31百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて159億68百万円増加し、2,123億34百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が38億58百万円、短期借入金が150億円増加したことや、未払法人税等が27億55百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて15億65百万円増加し、1,988億3百万円となりました。これは主に、利益剰余金が26億20百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が10億35百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末より5億53百万円増加し、189億12百万円となりました。

当第1四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は81億61百万円(前年同期比15億35百万円の減少)となりました。これは主に、税引前四半期純利益69億43百万円、減価償却費11億86百万円、売上債権の増加額123億61百万円、たな卸資産の増加額35億80百万円、仕入債務の増加額43億20百万円、法人税等の支払額46億79百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23億25百万円(前年同期比7億91百万円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23億46百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は110億40百万円(前年同期比19億86百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金の純増加額150億円、長期借入金の返済による支出17億61百万円、配当金の支払額21億57百万円によるものであります。

(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,359	18,912
受取手形及び売掛金	186,451	198,812
商品及び製品	43,286	46,867
その他	16,034	16,556
貸倒引当金	△84	△90
流動資産合計	264,047	281,056
固定資産		
有形固定資産		
土地	46,417	48,748
その他(純額)	58,778	58,623
有形固定資産合計	105,195	107,371
無形固定資産	1,029	1,009
投資その他の資産		
投資その他の資産	23,336	21,704
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	23,331	21,699
固定資産合計	129,556	130,081
資産合計	393,603	411,137
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	151,806	155,664
短期借入金	2,500	17,500
1年内返済予定の長期借入金	5,950	5,477
未払法人税等	5,103	2,348
賞与引当金	1,713	2,516
返品調整引当金	181	217
その他	18,349	19,600
流動負債合計	185,604	203,324
固定負債		
退職給付引当金	2,451	2,473
その他	8,310	6,536
固定負債合計	10,761	9,010
負債合計	196,366	212,334

(単位:百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,869	15,869
資本剰余金	27,827	27,827
利益剰余金	143,742	146,362
自己株式	△8	△8
株主資本合計	187,429	190,049
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,803	8,767
繰延ヘッジ損益	4	△14
評価・換算差額等合計	9,807	8,753
純資産合計	197,237	198,803
負債純資産合計	393,603	411,137

(2) 四半期損益計算書
(第 1 四半期累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 2018年 4 月 1 日 至 2018年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 6 月 30 日)
売上高	260,511	262,633
売上原価	240,144	242,582
売上総利益	20,367	20,051
販売費及び一般管理費	13,455	13,791
営業利益	6,912	6,259
営業外収益		
受取配当金	121	118
情報提供料収入	452	459
不動産賃貸料	34	35
その他	128	123
営業外収益合計	738	737
営業外費用		
支払利息	30	22
不動産賃貸費用	10	9
その他	0	0
営業外費用合計	41	32
経常利益	7,609	6,964
特別利益		
投資有価証券売却益	3	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	10	0
減損損失	—	18
投資有価証券売却損	—	3
特別損失合計	10	22
税引前四半期純利益	7,602	6,943
法人税、住民税及び事業税	2,370	2,136
法人税等調整額	△7	27
法人税等合計	2,362	2,163
四半期純利益	5,239	4,780

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	7,602	6,943
減価償却費	1,044	1,186
減損損失	—	18
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8	6
賞与引当金の増減額(△は減少)	610	802
返品調整引当金の増減額(△は減少)	41	36
退職給付引当金の増減額(△は減少)	67	27
受取利息及び受取配当金	△122	△118
支払利息	30	22
投資有価証券売却損益(△は益)	△3	1
売上債権の増減額(△は増加)	△17,168	△12,361
たな卸資産の増減額(△は増加)	△564	△3,580
仕入債務の増減額(△は減少)	3,532	4,320
未払消費税等の増減額(△は減少)	261	525
その他	△916	△1,414
小計	△5,575	△3,581
利息及び配当金の受取額	122	118
利息の支払額	△27	△19
法人税等の支払額	△4,215	△4,679
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,696	△8,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,069	△2,346
有形固定資産の売却による収入	50	10
無形固定資産の取得による支出	△44	△50
投資有価証券の取得による支出	△37	△35
投資有価証券の売却による収入	5	125
その他	△21	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,116	△2,325
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	12,000	15,000
長期借入れによる収入	1,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,835	△1,761
リース債務の返済による支出	△17	△41
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△2,093	△2,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,053	11,040
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,759	553
現金及び現金同等物の期首残高	21,648	18,359
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,888	18,912

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

固定資産の譲渡

当社は、2019年7月26日開催の取締役会において、固定資産の譲渡を行うことを決議いたしました。

1. 譲渡の理由

経営資源の有効活用による資産の効率化を図るため、以下の固定資産を譲渡することといたしました。

2. 譲渡資産の内容

資産の内容及び所在地	譲渡価額	帳簿価額	譲渡益	現況
RDC東京 土地：24,960.00㎡ 建物：28,046.98㎡(延床面積) (千葉県浦安市千鳥12番15他)	(※1)	(※1)	9,400百万円	物流センター

※1 譲渡価額、帳簿価額は、譲渡先の意向により開示を控えさせていただきますが、競争入札による市場価格を反映した適正な価格での譲渡となります。

※2 譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額及び譲渡に係る諸経費の見積額を控除した概算額であります。

※3 別途、固定資産の譲渡に伴い固定資産除却損を100百万円計上する見込みであります。

3. 譲渡先の概要

譲渡先は、国内事業法人となっておりますが、譲渡先との取り決めにより開示を控えさせていただきます。なお、譲渡先と当社との間には、資本関係、人的関係及び関連当事者として特記すべき事項はございませんが、取引関係において物流センター建設工事の委託等がございます。

4. 譲渡の日程

(1) 取締役会決議日	2019年7月26日
(2) 契約締結日	2019年7月29日(予定)
(3) 物件引渡日	2020年3月末日(予定)

5. 当該事象の損益に与える影響額

当該事象により、2020年3月期下期において、固定資産売却益9,400百万円を特別利益、固定資産除却損100百万円を特別損失として計上する見込みであります。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

①当第1四半期累計期間における販売実績を商品分類別に示すと、次のとおりであります。

商品分類別の名称	当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同四半期比 (%)
	金額 (百万円)	
化粧品	66,552	97.8
日用品	116,890	101.2
医薬品	34,129	97.8
健康・衛生関連品	41,384	107.2
その他	3,676	104.8
合計	262,633	100.8

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。

②当第1四半期累計期間における販売実績を販売先業態別に示すと、次のとおりであります。

販売先業態別の名称		当第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同四半期比 (%)
		金額 (百万円)	
Drug	ドラッグストア	165,567	100.7
HC	ホームセンター	25,428	96.1
CVS	コンビニエンスストア	18,563	104.2
DS、Su.C	ディスカウントストア、ス ーパーセンター	19,129	117.6
SM、SSM	スーパーマーケット、ス ーパースーパーマーケット	13,061	91.8
GMS	ゼネラルマーチャндаイジ ングストア	9,539	101.8
その他	輸出、その他	11,343	95.3
合計		262,633	100.8

(注) 上記の金額には、消費税等を含めておりません。